

平成30年度第3回地域創生推進市民会議(平成30年8月29日) 外部評価結果について

※評価シート回収数:14

No.	事業名	外部評価における評価		効果検証等に関する意見・コメント	その他
26	喜多方市少子化対策結婚支援事業	1 事業の拡充が必要	1名	・イベントがあってもそれに参加してみたいと後押ししてもらい何かがないと、参加者増につながらないのでは。個人へのPRだけでは難しいので、ぜひ職場(企業)へもPRしてください。	【未評価 1名】 ・企業内の未婚者を対象に資料やアンケートを求める。
		2 事業の継続実施が必要	10名	・イベント、セミナーすべてにおいて、世話人が年寄りばかりでないこと。他都市の同取組で成功している事例を研究し、特に市内定住者の若い夫婦を少しでも増やすこと。 ・男女の出会いの場の創出では、喜多方の良さや誇れるものを体感してもらえそうな婚活イベント等の内容検討と共に、「世話やき人」の活動支援力に期待する。 ・婚活も重要であるが、少子化対策として、最も留意すべきは、子育てしやすい環境整備であると思う。例えば、兵庫県明石市などは、この対策を重点的に実施することにより、人口増加、市税収入増を実現させている。	
		3 事業内容の見直しが必要	2名	・市役所、公民館等が、各地域と一緒に取組が必要と考えます。 ・世話やき人制度について、成果がゼロであるならば、内容のすべての見直しが必要だと感じる。出会いの場の創出イベントについては、場をつくった後のアフターフォローの取組が必要。	
27	子ども総合相談事業	1 事業の拡充が必要	0名		【未評価 1名】 ・企業を通じて。
		2 事業の継続実施が必要	13名	・実績からして、減額してよい。 ・それぞれの発達段階に応じた講演会を実施したらどうか。	
		3 事業内容の見直しが必要	0名		
28	ファミリーサポートセンター利用者助成事業	1 事業の拡充が必要	1名	・補助額をできる限り多くしてみてはどうか。	【未評価 1名】 ・是非必要と考える。
		2 事業の継続実施が必要	11名	・ぜひ継続実施をお願いします(利用者さんが喜んでいらっしゃるのです)。	
		3 事業内容の見直しが必要	1名	・親の負担軽減のためにも利用者申請の自動更新とファミリーサポート利用料の一部助成の対象を未就学児のみではなく、小学生も対象にすべきと考える。	

No.	事業名	外部評価における評価		効果検証等に関する意見・コメント	その他
29	多子世帯保育料軽減事業	1 事業の拡充が必要	0名	<p>・申請ありきではなく対象者をピックアップして交付できると良い。</p> <p>・今後幼児教育の無償化を検討する方針とのことだが、財政面で難しければ、子育て世帯の負担軽減のためにも5歳児の保育料を無料化に向けた制度の見直しも必要ではないか。</p>	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	12名		
		3 事業内容の見直しが必要	1名		
30	出産・育児のための離職者への支援事業	1 事業の拡充が必要	1名	<p>・離職者向けでは無く、納税額ベースであれば申請しなくても対象をピックアップできるのではないか。</p> <p>・中止しても良いのではないか。</p>	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	11名		
		3 事業内容の見直しが必要	1名		
31	私立保育施設保育士等処遇改善事業(新規)	1 事業の拡充が必要	1名	<p>・企業への直接のPRが望まれます(リサーチも同様)。</p>	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	12名		
		3 事業内容の見直しが必要	0名		
32	多職種連携による課題解決に向けた推進体制の検討・構築(新規)	1 事業の拡充が必要	0名	<p>・医療、介護連携の研修は必要であり、継続実施していただきたいが、研修会に幅広く、より多く参加してもらうためには、各事業所が参加しやすい(参加できるような)職場環境づくりをしていくことが必要だと思う。</p> <p>・KPIの進捗が遅れている理由を分析し、研修成果を上げることが必要。</p>	【未評価 2名】
		2 事業の継続実施が必要	11名		
		3 事業内容の見直しが必要	1名		
33	介護職員養成・就労定着化事業(介護パワーアップ事業)	1 事業の拡充が必要	1名	<p>・お得に資格が取得できる事業なので、もっとPRにぜひ力を入れてほしいです(こども園や保育所へもっとPRされてはどうでしょう)。</p> <p>・実績(就労定着化)からすると、減額してもよい。</p> <p>・介護職への就労、定着は現実に厳しいものがあると思われる。就労奨励金交付の効果に期待し、更なる事業内容の見直しで介護職不足の解消を図る必要があると思う。</p> <p>・受講者に対して就労者が少ない。</p>	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	10名		
		3 事業内容の見直しが必要	2名		

No.	事業名	外部評価における評価		効果検証等に関する意見・コメント	その他
34	看護職就学・就労支援事業	1 事業の拡充が必要	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・市内にて入学募集ポスターを見た。さらなる勧誘ポスターの施策が望まれる。市としては将来、正看護師養成学校を設立していける体制づくりが必要である。 ・地元への就職率アップに繋がるようになることを期待します。 ・喜多方准看護高等専修学校の生徒のみという対象を学校出身者まで広げてはどうか。 	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も喜多方医師会と連携し、事業周知などを強化して、地元定着化の促進に努めていただきたい。 	
		3 事業内容の見直しが必要	0名		
35	喜多方市地域・家庭医療センター家庭医養成機能強化事業	1 事業の拡充が必要	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっときり医療センターを2度利用してみたが、大変良い病院体制であった。臨床研修希望者がいないといった現状の原因を分析し、当センターの広告宣伝ポスターを県内外の医療系大学に掲示してもらうこと、また、大学等の学長宛てに詳しい募集依頼書を市長として送付すること等、改善点は多々ある。 	【未評価 1名】
		2 事業の継続実施が必要	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・実績が出るように担当者は積極的に勧誘すべき。 ・さらにPRが必要。 	
		3 事業内容の見直しが必要	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・研修医に喜多方を希望してもらえよう、家庭医育成拠点として研修医の不安を解消するための条件や環境を見直し、受け入れ体制を整備する必要があると思う。 ・研修医を受け入れるのも良いが、喜多方に産科医を増やさないと喜多方で出産する人がますます減る。 	